

## 平成17年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

平成17年5月1日現在

学校番号	特9	学校名	県立友部東養護学校						課程	全日制		学校長名	小林隆二					
教頭名	大曾根一己										事務(室)長名	菊池平治						
教職員数	教諭	39	養護教諭	1	常勤講師	9	非常勤講師	0	実習教諭, 実習講師, 実習助手	2	事務職員	3	技術職員等	2	計	56		
生徒数	学部	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合計クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	小学部	1								1		1		3	0		2	
	中学部	1	1	1	1	2	1							4	3		3	
	高等部	3	4	4	3	1	3							8	10	3		
訪問教育	病院	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高3	合計						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	県立こども病院		1		2	2			2	2		1		1	1	4	8	
	県立友部病院																	
	筑波大学附属病院			2		1	1		1	1		1		1	2	1	4	7
	県立医療大付属病院		1			1		1									2	1
土浦協同病院											1					0	1	

## 2 目指す学校像

- (1)家庭・医療機関・地域・関係機関との連携のもと、一人一人の児童生徒のニーズに応じた教育が実践できる学校  
(2)病弱教育に対する専門性の向上に努め、創意工夫ある指導ができる学校  
(3)地域のセンター的役割を担い、教育支援活動に積極的に取り組む学校  
(4)地域に根ざし、開かれた学校  
(5)教職員一人一人が学校経営に参加できる学校

### 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疾病の治療や不登校等による学習空白期間の長期化が見られる。</li> <li>・ 児童生徒個々の能力に応じた学習形態の工夫検討に努めている。</li> <li>・ 転入，転出時の前籍校との十分な連携に努めている。〔転入 45 名，転出 33 名（平成 16 年度延べ人数）〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の実態に合わせた学習形態と指導計画の見直し</li> <li>・ 高等部の教育課程（コース，コース，コース）の効果的な活用</li> <li>・ 「個別の教育支援計画」の効果的な利用法の研修</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の通学生の増加により，より一層の事故防止指導を図っている。〔小中高の 97 % が通学生（訪問教育を除く）〕</li> <li>・ 学校と家庭との連絡を密にし，問題行動の未然防止に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より効果的な，交通安全教室や立哨指導の立案</li> <li>・ 家庭訪問を積極的に実施するなど，家庭との連携を深め，児童生徒理解に努める。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習空白を補いつつ，本人・保護者が希望している高等学校へ進学できるような進路指導。学習指導に努めている。〔中学部：進学率 100 %（平成 16 年度）〕</li> <li>・ 生徒の病状により進路を決定していくことが困難な状況であり，在家庭が増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前籍校との進路指導に関する連携の充実</li> <li>・ 精神的な疾患のある生徒の進路先と考えられる施設の開拓</li> <li>・ 「個別移行支援計画」の効果的な利用</li> </ul>
センター的役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーフレットの配布や，市町村教育委員会への訪問等による，本校への理解啓発活動に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域や県立学校・小中学校との情報交換を行い，さらなる理解啓発への工夫</li> </ul>

### 4 中期的目標

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>（ 1 ）児童生徒の実態に応じた学習指導計画を立案すると共に，興味関心を持って取り組めるような指導形態を工夫するなど，教育内容の改善を図る。</li> <li>（ 2 ）高等部における教育課程（一般 コース，一般 コース，一般 コース）の効果的な運用に努める。</li> <li>（ 3 ）「個別移行支援計画」「個別の教育支援計画」の運用と，見直しに努める。</li> <li>（ 4 ）本校の教育内容について，小中高等学校，関係機関への啓発活動に努める。</li> <li>（ 5 ）スクールカウンセラーによる教育相談体制の充実化を図る。</li> <li>（ 6 ）本校校舎，施設，設備等の校内検討委員会を設け研究を推進する。</li> </ul> |
|---|

## 5 本年度の重点目標

重点目標	具体的目標	達成状況
個に応じたきめ細やかな指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」の運用を開始し，児童生徒の指導に生かすように努める。</li> <li>・小学部の年間指導計画の見直しを推進する。</li> <li>・高等部教育課程（コース，コース，コース）の効果的な運用を図る。</li> </ul>	
関係各機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入時に連絡を密にしたり，転出時に「個別の教育支援計画」等を利用したりして前籍校との連携を図る。</li> <li>・地域交流運営協議会や学校運営協議会の充実を図る。</li> </ul>	
児童生徒の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室，計画的な立哨指導や不審者対応避難訓練を実施する。</li> </ul>	
進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人や保護者が希望する高等学校へ進学できるような進路指導・学習指導に努める。</li> <li>・精神的な疾患のある生徒の進路先として考えられる施設の開拓をさらに推進する。</li> </ul>	
本校の教育内容についての啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な組織を通じて，リフレットを全県の小中学校や市町村教育委員会へ配布する。</li> <li>・学校見学や就学相談に随時対応できる校内体制を作る。</li> </ul>	
校舎，施設，設備等の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部増築に伴い，教室の利用について研究する。</li> <li>・よりよい教育環境作りの研修に努める。</li> </ul>	